



編集方針

SMBCグループでは、グループの概要、事業戦略および経営基盤等について、財務情報、非財務情報の両面からステークホルダーの皆さまに簡潔にご説明するため、「SMBC GROUP REPORT 2023」を作成しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワーク」等を参照しています。

なお、詳細なデータ等に関しては、「SMBC GROUP REPORT 2023 資料編」をご参照ください。また、サステナビリティへの取組については、Webサイトで詳しくご説明しています。

本資料（ディスクロージャー誌本編および資料編）は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明資料）です。本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」「予測」「期待」「意図」「計画」「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式にかかるリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

報告対象

期間： 2022年度（2022年4月～2023年3月）

一部に2023年4月以降の情報も含まれます。

範囲： 三井住友フィナンシャルグループおよびその子会社・関連会社

発行時期

2023年7月

お問い合わせ先

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ 広報部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-2

TEL (03)3282-8111



「SMBC」はグループ全体のマスターブランドです。

グループ各社がこのロゴを使用し、SMBCブランドを訴求していくことで、グループ全体のさらなるブランド力強化を目的としています。

ライジングマーク

「SMBC」の横の上昇カーブを描くマークはグループが提供する一層価値あるサービス、先進的・革新的なサービスにより、お客さま、株主、社会とともにグループが発展していく願いが込められています。

コーポレートカラー

ライジングマークに使用されるフレッシュグリーンは、若々しさ、知性、やさしさを、マーク背景色にも使用するトラッドグリーンは、伝統、信頼、安定感を表しています。

P.002

SMBCグループの
価値創造

P.040

価値創造のための
事業戦略

P.108

価値創造を支える
経営基盤

Contents

- 002 お客さま・社会とともに歩んだ歴史
- 006 MISSION & VISION & FIVE VALUES
- 008 CEOメッセージ
- 018 SMBC Group's Value Creation Process
- 020 中期経営計画(2023~2025年度)の基本方針
- 024 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 026 CFOメッセージ
- 032 行政処分等への対応・再発防止に向けた取組
- 034 社外取締役座談会

- 042 グループ体制
- 044 リテール事業部門
- 048 ホールセール事業部門
- 052 グローバル事業部門
- 056 市場事業部門
- 060 デジタルで切り拓く金融の未来
- 064 SMBCグループの将来の成長を牽引する主要施策
 - 066 マルチフランチャイズ戦略・海外証券ビジネス
 - 070 Olive
 - 076 米国デジタルバンク
- 080 サステナビリティの実現に向けた社会的価値の創造
- 090 価値創造を支える人材戦略
- 098 FIVE VALUESの体現者たち

- 110 コーポレートガバナンス
- 126 リスク管理への取組
- 130 コンプライアンス体制
- 132 お客さま本位
- 135 ITガバナンス
- 136 サイバーセキュリティ
- 138 内部監査
- 139 ESG情報
- 140 業績と財務状況

